

日本美しの森 お薦め国有林

人は、生き物は、森に生まれ、森に守られて暮らしてきました。

幾重にも連なる樹々の緑とふれあい、

自然の息吹を肌で感じるとき、

きっと私たちの心には、新たな生命の力が芽吹いてくるはずです。

日本の国土の70%は、美しく豊かな森林に覆われています。

林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、

全国の美しい国有林に「レクリエーションの森」を展開しています。

この中から、特にみなさまに訪れていただきたい森を

「日本美しの森 お薦め国有林」として選定しています。

利用する皆様への国有林からのお願い

- ① 動植物の保護にご協力ください。ペットの連立はマナーを守り、周囲の環境に十分配慮してください。
- ② 樹木を損傷したり、林産物を窃取したりした場合は、法により罰せられることがあります。保安林内では、下草の採取等も禁止されています。
- ③ 歩道、広場等の区域外への立ち入りはお控えください。指定地外でのキャンプは禁止など、それぞれのレクリエーションの森のルールに従ってください。
- ④ 立入制限の表示がある区域には、絶対に立ち入らないでください。
- ⑤ 休息などで立ち止まる場合には、落下するおそれがある枝がないか、落石の危険がないかなど、安全な場所であることを十分にご確認ください。
- ⑥ 登山は自己責任が原則です。天候や登山情報を確認し、十分な装備で、登山計画を家族等に伝え、登山地域の警察署等に「登山計画書」を提出願います。併せて、登山口等に設置してある「登(入)山者名簿」に必要事項を記載の上、入山してください。
- ⑦ 悪天候のときは入林をお控えください。
- ⑧ 余った食糧を林内に棄てることはしないでください。ゴミ・残飯の持ち帰りにご協力ください。
- ⑨ 喫煙は決められた場所をお願いします。タバコなどの火の始末にご協力ください。
- ⑩ 山道は危険です。歩きながらの携帯電話等の使用は危険ですのでお止めください。写真撮影に際しても周囲の状況を確認し、他の利用者の迷惑にならないよう、十分注意してください。
- ⑪ 小型無人航空機(ドローン)を飛行させる場合は、事前に最寄りの森林管理局又は森林管理署にご連絡の上、所定の手続きをとってください。

トムラウシ自然休養林 アクセスMAP



アクセス方法

公共交通機関の場合:

- トムラウシ温泉東大雪荘無料送迎バス(宿泊者のみ、要事前予約)
帯広とかちプラザ前 → 新得駅前 → トムラウシ温泉東大雪荘下車(約145分)
 - とかち帯広空港(空港連絡バス:約40分) → 帯広駅(特急スーパーおおぞら又はとかち:約35分) → 新得駅(※)
 - 札幌駅(特急スーパーおおぞら又はとかち:約130分) → 新得駅(※)
※新得駅(拓殖バス(7月中旬~8月中旬のみ):約90分) → トムラウシ温泉東大雪荘下車
 - 旭川駅前(都市間バスノースライナー) → 富良野駅前経由:約180分 → 新得町役場前(拓殖バス:約90分) → トムラウシ温泉東大雪荘下車
- 注) 7月中旬~8月中旬以外は、自家用車がトムラウシ温泉東大雪荘無料送迎バスのみ。

車の場合:

- 札幌駅(道央道(札幌南IC) → 道東道(十勝清水IC):約120分) → 一般道(約90分) → トムラウシ自然休養林
- 旭川駅 → 一般道(約195分) → トムラウシ自然休養林
- 帯広駅 → 一般道(約110分) → トムラウシ自然休養林
- 新得駅 → 一般道(約70分) → トムラウシ自然休養林

トムラウシ自然休養林

住所:北海道十勝郡新得町字屈足トムラウシ

お問い合わせ先:

林野庁北海道森林管理局 十勝西部森林管理署東大雪支署

電話番号:01564-2-2141

トムラウシ自然休養林保護管理協議会

(新得町役場産業課)

電話番号:0156-64-0522

林野庁 国有林野部 経営企画課

林野庁レクリエーションの森 ホームページ

http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/rekumori.html



Recreation
Forests of JAPAN

北海道

トムラウシ 自然休養林

アウトドアのあとは美肌の湯とそばで一休み



レクリエーションの森
林野庁

岳人の憧れトムラウシ山の麓に広がる原始の森

トムラウシ自然休養林案内図



地理的・地形的特徴

トムラウシ自然休養林は、北海道のほぼ中央部にあり、北部には大雪山(大雪火山群)が取り囲むようにそびえ、それに連なるように十勝岳連峰(十勝火山群)が走っています。今もなお火山活動を続ける火山を含む山岳を中心とした原始性豊かな地域で、山懐深い地域の特殊性から長きにわたり人跡未踏の地であったとされています。また、大雪山国立公園南部トムラウシ山麓の十勝川源流部には、国内で僅か5地域しか指定されていない原生自然環境保全地域があり、原生のままのエゾマツ・トドマツ林が見られる極めて貴重な地域です。



白雲台より十勝岳連峰を臨む

歴史的・文化的特徴

北海道の地名の多くはアイヌ語から由来しており、語源は諸説ありますが、トムラウシは「トンラ・ウシ」(湯あかの流れるところ、新得は「シットク・ナイ」(山の肩、または端)がなまったもので、お酒を造るときに漆器を「シントコ」といい、これを作るための土地だったとも言われています。明治32年、北海道開拓の最盛期、山形県高崎村出身の村山和十郎らによってシントク原野に開拓の鉄がおろされました。トムラウシ山は、大雪山系に含まれており、昭和9年に国立公園に指定され、同46年には「天然記念物」に、さらに同52年には世界的にも価値が高い自然の宝庫として「特別天然記念物」に指定されています。



トムラウシ山麓の紅葉

気候等と植生・野生生物

気候は寒冷で、日本の中でも最も早く晩秋の気配が訪れる地域です。標高の高い場所では9月上旬から葉が色づきはじめ、広大な森林を赤や黄色などに染め上げながら時間をかけて麓へ広がります。この色彩豊かな紅葉を見に、毎年多くの観光客が全国から訪れます。トムラウシ山は、氷河期の生き残りといわれるナキウサギをはじめ、クマゲラ、シマフクロウなど希少野生動物、イワヒゲやエゾコザクラなどの高山植物、ウスバキチョウ、アサヒビヨウモンなど日本では大雪山しか見ることができない固有種の生息地となっています。



冬のエゾクロテン

楽しみ方

《登山》トムラウシ山は、日本を代表する日本百名山のひとつに選ばれており、アルピニストの聖地として有名です。山頂から望む手つかずの森林が、四季を通してダイナミックに姿をかえる景色は圧巻です。折節に姿を変える山の美しさや野生動物の宝庫であることから「日本最後の秘境」といわれ、夏には多くの登山客で賑わいます。《温泉》大雪山の中にひっそりとたたずむトムラウシ温泉は、美肌の湯として名高い炭酸水素塩泉であり、広々とした内風呂に加え、川のせせらぎが聞こえる露天風呂では四季折々の景観を心ゆくまで堪能できます。《アクティビティ》シーズンを通して水量豊かな十勝川でのラフティングや十勝平野を見下ろしながら、極上のパウダースノーでのスキーを楽しむことができます。また、石臼で当日挽いたそば粉を使用する「そば打ち体験」では、蕎麦の一番おいしい食べ方である「挽きたて、打ちたて、ゆでたて」を味わうこともでき、大人から子どもまで楽しめます。



東大雪荘外観

施設情報

- ・標高 480~964m(トムラウシ山標高 2,141m)
- ・面積 1,255.08ha
- ・入園料 無料
- ・開園期間 通年24時間利用可能
- ・有人施設 トムラウシ温泉東大雪荘は通年営業
- ・宿泊 【レク森内】トムラウシ温泉東大雪荘、トムラウシ野営場(7月上旬~9月下旬)
【レク森外】オソウシ温泉鹿乃湯荘、山の交流館とむら、湯宿くったり温泉レイク・イン
- ・駐車場 約20台・無料